

～感性きらり☆平戸食材を使った食育料理コンテスト～

平成27年度消費・安全対策交付金(食育事例)

事業実施主体:長崎県平戸市

○平戸市では、平戸市食育推進会議を組織し、生産者・消費者食育部会、家庭・地域食育部会、学校教育所等食育部会の3部会で食育に関する実施活動の中心となる組織として活動し、生産者団体や教育機関などの関係団体と連携協力を図りながら、食育を市民活動として推進している。

○具体的には、地産地消の推進と家族や友人と料理を作る経験から「食育」について考える機会を作り、命の源である「食」に関わる全てのものに感謝する気持ちを育てるよう「食育料理コンテスト」を開催している。また、食育推進計画を市民に周知するため、「食育通信」を発行し、食育に関わる団体の活動を紹介している。

長崎県平戸市



【取組の内容】

○食育料理コンテストの開催

地元食材に対する関心と、栄養バランスのとれた朝食の普及を目的として「白ごはんに合う朝食のおかず」をテーマに、市内の小中高校生を対象に募集した。



最優秀賞、優秀賞、優良賞各1作品、入賞3作品、審査員特別賞3作品を平戸市福祉健康まつりで表彰。

○平戸市食育通信「たからじま通信」の発行

食について関心を持ち、見つめ直すきっかけになるように ※「た・か・ら・じ・ま」運動の周知を目的として、平戸市食育通信「たからじま通信」を発行し、保育所、小学校や食生活改善推進員の取組、平戸産の農産物などを紹介した(前回の発行は平成24年度)。

※た・か・ら・じ・まとは「・楽しく家族でだんらん・感謝して・米(らいす)と野菜と肉、魚の・自慢の平戸食材を・毎食たべよう!リズム良く」の略称。平戸市総合計画のサブタイトルである「ひと(HITO)響きあう宝(たから)島(じま)平戸」から引用、食育を「た・か・ら・じ・ま」運動とし進めている。

【取組の成果】

平成25年度から取り組んでいる食育料理コンテストは、年々参加校、作品数ともに増加し、平成27年度は、小学校8校、中学校7校、高校3校から535作品の応募があった。

家族や友達同士でコンテストに応募することで、みんなで楽しみながら、食育活動に関わることができた。

(平成27年度入賞作品)



アジスティック

骨のみかた!

川内かまピザ

保育所、幼稚園、小中学校の保護者、市民、公民館等に「たからじま通信」を4,000部配布し、本市の伝統的な食文化の継承や食に関する知識を身につけることによって、健全な食生活を送るきっかけとなった。